

# 東京都知事選の真相・前編レジュメ

どうも、かりりいです。

今回は、「ドクター中松が語る東京都知事選の真相～前編～」の中松氏へのインタビュー部分の内容をレジュメ形式でまとめてみました。

レジュメを見ながら聞いた方が理解も深めやすいと思うので、音声と併せて読んでみてください。

では、以下からがレジュメとなります。

↓↓↓

## ドクター中松が東京都知事選に出続けている理由

### ◆日本とアメリカが戦争をやめたポツダム宣言の受諾

(昭和 20 年 8 月)

→実は、そこには秘話がある。

3ヶ月前の5月・・・ドイツが降伏。

その時、アメリカのルーズベルト大統領の使者がスイスに出向く。

同じ時、ドイツのベルリンにいた藤村海軍中佐は、ベルリンの陥落（かんらく）によりスイスに移っていた。

⇒そこで、ルーズベルト大統領の使者と打ち合わせ。

ルーズベルト大統領の使者から、こんなことを提案される・・・

「アメリカは既に弱っている。  
満州や朝鮮半島・樺太は日本国として残すから和睦（わぼく）しないか？」

それを受けたのが、藤村海軍中佐。

## 藤村海軍中佐とドクター中松の関係

- ・二人は、自宅が近かった。
- ・ドクター中松も、戦時中は海軍にいた  
→先輩後輩の関係でもあった
- ・中松氏は、藤村氏の弟分として可愛がられていた。

藤村氏がガンで亡くなる前に、

「日本のリーダーとして、この荒廃した日本を復活させて欲しい。」  
という遺言を受ける。

## 原発に代わる次のエネルギーの研究

- ・19世紀のテクノロジー：原発
- ・20世紀のテクノロジー：ソーラー（太陽光）や風力など

現在は、21世紀のエネルギーを研究中

その最中、猪瀬氏（前・東京都知事）が辞任したことにより、  
アメリカのメディアから取材される。

→日本の国際的な評価が下がっていることを知る

しかも、  
東京オリンピックに向けてクリーンなイメージが必要なのに、  
さらに日本のイメージが下がるような都知事が当選してしまった。（舛添氏）  
→さらに日本の評価は下がっている

### ◆問題点

→それを日本人が認識していないこと

## ◆リーダーを選ぶ基準

- 人格（その人はどういう人物か？という部分）
- 人間としてのクオリティ

しかし、今の現状を見ると、  
「〇〇党が付いてるから」という理由で選ばれがち。  
もしくは、単純な知名度など。

その人の人格は見られていない。  
政治理念や人物に重きを置いていない。



## 日本の政治がダメな象徴

## ◆「脱原発」という言葉が利用されている

→ただの**票集めフレーズ**として利用されている。  
これを主張しているほとんどの人は、その先について考えていない。

「原発の代わりとなるエネルギーはどうするのか？」  
と聞かれても、答えられない人ばかり。

## ドクター中松は、「当たり前」のことを言っている

だけど、そんなことに注目してもらいたいわけじゃない。

大事なのは、  
**その「当たり前」が国民に浸透していない、という事実があること。**

※鳥内さんの分析については、動画をご覧ください。